



神奈川歯科大学附属病院 ニュースレター

2025年5月1日発行 15号

新年度のご挨拶

「健口長寿社会に向けた歯科大病院としての新たな取り組み」

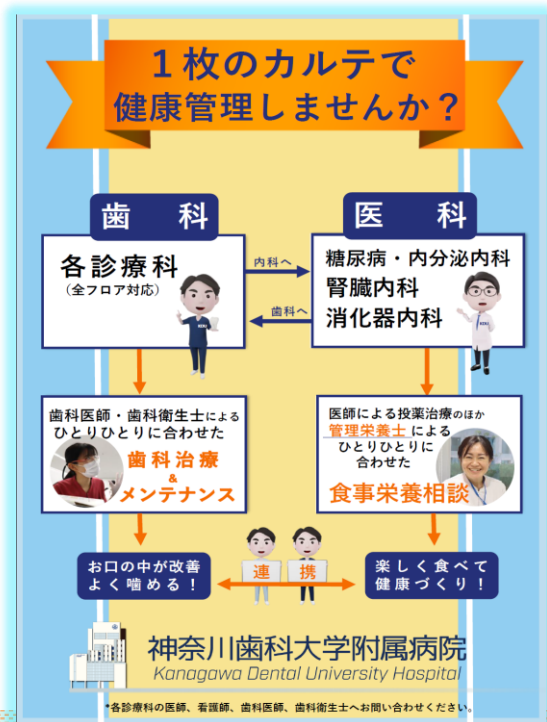
病院長 井野 智

昨年6月の医科診療報酬改定において、生活習慣病管理を行う多職種や脳血管疾患等リハビリ担当者として「歯科医師」が明記されました。〇〇だけの医科歯科連携ではなく、治療中心型から予防・管理型医療へ転換しようとする国の保健事業に関する意向が強く示された画期的なことです。

口腔機能が低下すれば、健康寿命に大きくかわることは言うまでもなく、歯科医師介入の重要性は明かです。ただし、失われた歯や口腔機能の低下に対して、補綴処置によって口腔機能や審美性を改善しただけでは、高齢患者さんの食習慣（嗜好食品）まで変更できたわけではなく、むしろ生活習慣病を悪化させてしまうことさえあります。そこで当院では、昨年の保険改定を機に、**多職種連携**（医師・看護師・管理栄養士・歯科医師・歯科衛生士）による**1枚の生活習慣病療養計画書**による「医科歯科栄養連携」をスタートさせました。

今年度は、更に発展させて、**小児専門の言語聴覚士**を招聘して「言語聴覚機能訓練・食

育」を提供することで、幼児期から後期高齢者まで切れ目のないサポートで「健口長寿社会」の実現に向けた歯科大病院としての歩みを始めました。引き続き、地域医療機関の皆様には、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。





新教授のご紹介

保存科 歯内診療部門

教授

室町幸一郎



この度、2025年4月1日付けで歯科保存学講座 歯内療法学分野の教授を拝命しました室町幸一郎と申します。甚だ僭越ではございますがこの場をお借りしまして謹んでご挨拶申し上げます。

歯内診療部門では、近隣の歯科医院や医療機関、院内他科からの歯内治療のご依頼に対して歯科用マイクロスコープや Ni-Ti ロータリーファイルをはじめとした機器を活用し、歯の保存を試みる治療に取り組んでいます。

また同時に歯内療法に精通した専門医の育成にも力を注いでいます。

皆様のお役に立てることがございましたらお気軽にお申し付けください。

今後とも神奈川歯科大学における歯内治療の発展に尽力し、診療、教育、研究の向上に努めてまいります。

引き続き御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

略歴

2007年3月 日本大学松戸歯学部 歯学科 卒業
2012年3月 日本大学大学院 松戸歯学研究科 修了、博士（歯学）取得
2012年4月 日本大学松戸歯学部 歯内療法学講座 助手（専任扱）
2014年4月 神奈川歯科大学 歯髓生物学講座 助教
2020年4月 神奈川歯科大学 口腔統合医療学講座 歯髓生物学分野 講師
2024年4月 神奈川歯科大学 高度先進歯内療法学分野 講師、附属横浜クリニック 成人歯科歯内療法部門 診療科准教授（部門長）
2025年4月 神奈川歯科大学 歯科保存学講座 歯内療法学分野 教授

口腔外科

教授 末永英之



このたび、2025年4月より口腔外科学分野の教授、分野長、診療科長を拝命いたしました。口腔外科は、外来診療に加え、入院・手術も担う診療科として、安心・安全かつ質の高い医療を提供する責務を担っております。口腔外科領域の疾患は多岐にわたり、治療も複雑化・高度化する中で、私たちはこれまで培ってきた知識・技術に加え、新たなテクノロジーを積極的に取り入れることで、次世代の口腔外科医療を切り拓いてまいります。

とくに、マーカーレス拡張現実（AR）支援手術の導入に取り組んでおり、手術の高精度化・低侵襲化を目指した革新的な医療の実現に力を注いでいます。当科では、全身疾患を有する患者様の抜歯や、埋伏歯などの難症例の抜歯（静脈内鎮静・全身麻酔にも対応）をはじめ、顎変形症に対する外科的矯正治療、口腔領域の嚢胞、腫瘍、炎症、顎顔面外傷、顎関節疾患、口腔粘膜疾患等の治療まで、幅広い診療を行っています。どのようなことでもお気軽にご相談いただけましたら幸いです。

臨床・教育・研究が有機的に連携する体制を整え、口腔外科医療の未来を担う人材をこの地から輩出してまいります。「技術と心」を両立させた医療を志し、そして「愛の精神の実践」という本学の理念を体現すべく、誠実に努力を重ねてまいります。何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

略歴：

2000年 日本大学松戸歯学部卒業
2004年 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻 修了、博士（医学）
東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科 医員、助教、講師、
東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻 感覚・運動機能医学講座 口腔顎顔面外科学分野 准教授を経て、
2025年4月より 口腔外科学分野教授、分野長、診療科長

歯科麻酔科 教授 脇田 亮



みなさま、はじめまして。

このたび 2025 年 4 月 1 日付で、神奈川歯科大学歯学部
歯科麻酔学分野の教授に就任いたしました、脇田 亮（わきた りょう）
と申します。

1997 年に東北大学歯学部を卒業後、同大学大学院にて歯科麻酔学を専攻しました。
2002 年からは東京医科歯科大学歯学部歯科麻酔学講座（現・東京科学大学歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野）に所属し、幅広い年齢層の患者さんや併存疾患を有する
方々の全身麻酔・鎮静法による麻酔管理に携わってきました。2011 年からは米国・コロン
ビア大学へ留学し、気管支平滑筋収縮機構の解明を目指す基礎研究にも取り組みまし
た。帰国後は臨床現場へ復帰し、診療に加えて学生や歯科麻酔医の教育・指導にも力を
注ぎ、さらに電子麻酔記録を活用した局所麻酔後の生体反応に関する臨床研究も行って
きました。

本学では、これまでの経験と最新知見を融合させ、学生や若手歯科医師の皆さんが「論
理的思考に基づいた分析・判断力」を身につけられるよう、取り組みます。また、治療担当の
先生方とは積極的なコミュニケーションを図り、快適かつ安全な診療の実現を目指します。
これから皆さま方と力を合わせ、医療の質の向上に努めてまいります。麻酔管理だけでなく併
存疾患など全身に関するご相談など、どんな些細なことでも構いませんので、お気軽にお声が
けください。今後ともよろしくお願いいたします。

小児・障がい者歯科 小児歯科診療部門 教授 仲井雪絵



初めまして、仲井と申します。歯学部も大学院も岡山大学出身です。

歯学生の頃、単に「病を治す」のではなく、「病をもった人（児）を診る」歯科医になりたい、と漠然と考
えていました。そのような中、小児歯科の講義で遭遇した「行動科学」は、心に寄り添う医療には不可欠
であると確信し、また臨床実習生（登院生）の時に「かくありたい」と思える素晴らしい指導教員と出会
い、ファミリーな医局の雰囲気にも魅了され、小児歯科に人生を投じる決意をしました。岡山大学小児
歯科は国立大学の中で当時日本一の患者数を誇り、臨床を存分に学べる恵まれた環境でした。臨床
の根拠を科学的に吟味する力も修得したいと考え、大学院に進学しました。大学院修了の 1 年後、ワ
シントン大学（米国・シアトル）へ 3 年間留学する機会をいただき、臨床と歯学教育は小児歯科学講
座、研究は歯科公衆衛生学講座（現・口腔衛生学講座）にて従事するという二足のわらじ生活を送
っていました。帰国後は、産婦人科医院の協力を得て妊婦を対象に介入を行い、子への齲蝕原性細菌
の伝播予防効果を検証しました。その研究成果に基づく「マイナス 1 歳から始めるむし歯予防」をスローガ
ンとした啓発活動を母子保健領域で展開しています。神奈川歯科大学小児歯科も素晴らしい臨床・
教育・研究をされており、相違点はあって当然のこと、それを多様性として尊重しあい、良い所を融合する
ことで成長・発展ができると信じています。今後ともよろしくお願いいたします。

お知らせ（人事異動）

2025 年 3 月末日付 小児歯科 教授 木本茂成（定年退職、2025 年 4 月から非常勤）

ことばのきょうしつ

矯正歯科 ことばのきょうしつ 言語聴覚士 押領司 勝



この度、「ことばのきょうしつ」を担当させていただくことになりました、言語聴覚士の押領司です。

最近では、発達に気がかりのあるお子さんが全国的にも増えており、「ことばが遅れている気がする」「どこに相談したらよいかわからない」といった不安を抱える親御さんも少なくありません。「気になるけど様子を見ていいのかな？」など少しのことでもお気軽にご相談ください。お子さん一人ひとりの発達には大きな個人差があり、その違いを尊重しながら、楽しく前向きに取り組める環境づくりを心がけています。

お子さまの「ことば」の成長をご家族と一緒に見守っていただけることを、心より楽しみにしています。

—言語聴覚士の役割

言語聴覚士は、ことばや聞こえ、発音、コミュニケーション、認知、さらには食べること（摂食・嚥下）など、幅広い分野に関する発達や障害を対象にした専門職です。お子さんの現状や困りごとの背景を明らかにするために、評価を行い、必要に応じて訓練や指導、助言などを通してサポートしていきます。

—当院の「ことばのきょうしつ」について

1. 週 1 回の定期的な訓練

当院では、お子さんの継続的な発達をサポートするため、週 1 回の定期的な言語訓練を基本としています。全国的にも小児専門の言語聴覚士が不足しており、月に 1 回や数か月に 1 回といった頻度での支援が多く見られますが、当院では定期的な評価・訓練を通じて、より丁寧な関わりを大切にしています。

2. 費用について

当院の「ことばのきょうしつ」は保険診療機関として運営しております。

「小児医療費助成制度」の対象となる場合があり、自己負担が軽減されることがあります。



-略歴-

押領司 勝(おうりょうじ まさる)

- ・2019年3月 九州保健福祉大学 (現:九州医療科学大学) 保健科学部 言語聴覚療法学科 卒業
- ・2019年4月 医療法人社団ゆづか こうざと矯正歯科クリニック勤務
 - 小児領域を専門とした言語療法に従事
- ・2025年4月 神奈川歯科大学附属病院 矯正歯科 言語療法担当として勤務

- 保有資格
 - ・言語聴覚士
 - ・介護福祉士

地域連携室から

神奈川歯科大学附属病院では地域連携室で他医療機関からのご紹介や患者様からのご相談、予約管理に対応させていただきます。

お気軽にご相談下さい。

〒 238-8570

横須賀市小川町 1-23

神奈川歯科大学附属病院 地域連携室

電話 046-822-8877

FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

